愛工大から、いちばんHOTなnewsをお届けします。

AIT news vol.42

AICHI INSTITUTE OF TECHNOLOGY

2014年12月17日発行
〈年3回発行〉

愛知工業大学
www.ait.ac.jp

【編集・発行】名古屋電気学園総務部広報課
〒470-0392愛知県豊田市八草町八千草1247
tel.0565-48-8177(直通)

助成金の総額が、なんと1500万円に！
「学生チャレンジプロジェクト」がパワーアップ！

ロボットを作りたい！フォーミュラカーを作ってレースに参戦したい！など、自分たちで考えた企画を申請し、優秀な企画として採用されると最大で100万円の助成金が支給されるという愛工大独自の制度『学生チャレンジプロジェクト』がパワーアップ！助成金の総額が1500万円まで引き上げられ、本年度の採用件数はなんと25件！愛工大は、学生の「今しかできないチャレンジ」をとことんバックアップ！その一部を紹介します。

サークル＋研究室 「Honda エコマイレッジチャレンジプロジェクト」
(自動車研究室 機械学科:谷本隆一教授)

1リットルのガソリンでどれだけの距離を走行できるか?速度25km/h以上でマシンの燃費性能を競います。愛工大チームは25年前から参戦。マシンの製作は授業でも取り上げられ、また参戦車の改良に関する研究は卒業研究にも。毎年記録を更新。2014年は496km/ℓで完走し、89チーム中29位でゴール!確実にレベルアップし成果を上げています。

研究室 「ETロボコン2014参戦による組み込み技術の学習」
(情報基盤システム研究室 情報科学科:水野勝教准教授)

決められた走行体で指定コースを自律走行する「ETロボコン」の上位入賞を狙うプロジェクト。ハードウェアは市販のキット。バッテリーも規定のものを使用して、ソフトウェアによる制御結果のみで優劣を競います。分析・設計モデリングの開発などにチャレンジし、世界をリードするエンジニアの育成を目指すもので、『技術教育機会の提供』を一番の目的としています。

サークル 「仮想空間における視点移動と姿勢計算システムによる運動制御」
(メディア情報研究会 情報科学科:鳥居一平准教授)

2年前に工科展で最優秀賞を取った八草キャンパスの3Dデータをソフトウエア開発エンジンに移行。Oculus Rift※で360度の視界を実現し、モーションチェアとの連動で迫力ある「AIT 3D Roller Coaster」を実現。まるで本物のジェットコースターで八草キャンパス中を走っているような体感を得られます。

※Oculus Rift:広視野角、ヘッドトラッキング(頭の動きに表示が追従する)といった特徴を持つバーチャルリアリティに特化したヘッドマウントディスプレイ。

平成26年 企画採用プロジェクト一覧

1	仮想空間における視点移動と姿勢計算システムによる運動制御	9	ジャイロモーメントを用いた2輪ロボットによるロボットランサー競技への挑戦	17	2014鈴鹿 美浜6時間耐久ロードレース等への参戦(レース用車両の製作)
2	「ソーラーカーレース鈴鹿2014」、「FIAオリンピアクラス」への参加及びUAE主催による「ユナイテッド・ソーラー・チャレンジ」への挑戦	10	UAVによる学生の授業外活動活生化	18	レスキューロボットプロジェクト
		11	生物模倣型ロボットの開発	19	Hondaエコマイレッジチャレンジプロジェクト
3	2014年度 支部共通事業 日本建築学会設計競技第9回(公社)愛知建築士会学生コンペ	12	日本建築学会設計競技「建築のいのち」及び、環境デザインコンペ「植物的建築」などの設計活動	20	学生フォーミュラ大会参戦プロジェクト
4	3Dプリンターを用いた最先端ものづくり研究会	13	キラプロジェクト	21	地理空間情報を利用した地下街活性化プロジェクト
5	ETロボコン2014参戦による組み込み技術の学習	14	第38回鳥人間コンテスト2015人力プロペラ機部門出場用機体及び旋回人力飛行機の設計・製作、地上試験・飛行試験	22	木造軸組で知ろう!いまに活きる職人技術!!
6	ブリッジコンペティション2014			23	Robot-Art
7	AIT鉄人プロジェクト	15	Robocup Rescue競技ルールにもとづいた屋外調査ロボットの悪路走破性評価	24	学生ドリフト競技大会優勝を目指した車両製作と走行性能の評価
8	Robo Cup プロジェクト	16	からくりロボット	25	学生対抗軽自動車6時間耐久レースへの参戦

工科展
10月11日に大学祭と同時開催しました。各研究室やサークル、学生チャレンジプロジェクトなどで取り組むさまざまな研究や挑戦について紹介・展示され、来場者の注目を集めました。

学生委員会による一般部門

最優秀賞

知能機械システム工学研究室
科学館や博物館などで来場者とインタラクション(対話)しながら展示物を案内する
ツアーガイドロボット
一人用移動機器
パーソナルモビリティ

優秀賞 システム工学研究会
ジャイロセンサを搭載し坂でのコースアウトを防ぐ
マイコン制御のミニ四駆

優秀賞 戸伏・松井・武田研究室
形状記憶合金や形状記憶ポリマーの特性を利用した
熱エンジン出力特性の研究と体験型腕相撲マシーン

瑞若会(同窓会)特別賞 自動車研究室
審査員特別賞 建築研究会

速報!!
11/29
Ene-1GP MOTEGI in ツインリンクもてぎ
優勝!!
KV-1クラス
大学・高専・専門学校部門
AIT チャレンジプロジェクトチーム

一般来場者の評価によるステージ表彰
ベストオブ工科展 創造的ものづくり研究室
後援会特別賞 建築研究会
同窓会特別賞 メディア情報研究会

※大学祭についてはP.8をご覧ください。

ここが違う!
愛知工業大学で学ぶ 経営学 in 自由ヶ丘キャンパス

自由ヶ丘キャンパスにある経営学部経営学科経営情報システム専攻は、グローバル社会やITなど、多様な角度から経営を学べる学科です。
実践的な経営学を指導する教授陣の中から、今回は「ものづくり経営学」を専門とする後藤時政教授と、学生とともに地元商店街の活性化プロジェクトに取り組む石井成美教授をクローズアップ。
授業やプロジェクトの魅力をじっくりとご紹介します。

経営学に3Dプリンター??「ものづくり経営学」＝経営学＋生産管理技術

後藤時政教授の「MOT 技術経営学研究室」では、自動車産業を中心に製造業が盛んなこの地域の特性と工業大学の強みを生かした「ものづくり経営学」の研究・教育に取り組んでいます。

なぜ、ものづくり経営学が必要とされるのか。

経営学部経営学科
後藤 時政 教授
(MOT 技術経営学研究室)

もともと本学には、工学部の中の経営工学科として工学教育を基盤にした経営学教育に力を入れてきた歴史があります。その流れをくんで「ものづくり経営学」という独自色を打ち出しているのが、経営学科経営情報システム専攻の「ものづくり技術経営コース」です。このコースは、生産管理技術と経営学の両方を学べるのが特長で、ものづくり経営の研究・教育を通じて社会に貢献できればと考えています。

「技術経営」の目的は、製造企業の利益を最大化することです。そして、グローバルなものづくりの競争において利益を最大化するには、次の3つの要素が必要です。

1つめは、製品の持つ技術や機能が革新的であり、その技術や機能は顧客が求めるものであること。2つめは、高品質の製品を低コストで短期間に開発・生産できること。これは日本が得意な部分です。3つめは、自社製品の独自性を守りつつ市場を拡大できる戦略をとること。これは日本が苦手な部分で、良い製品を安く提供しているのに電子機器産業が儲かっていない原因になっています。家電やパソコンの部品が業界で標準化(オープン化)されたことで、海外で安く生産できるようになり、自社の研究費が回収できないうちに価格が下がって赤字になってしまう、という構図になっているからです。それに対して、パソコンの心臓部であるCPUを作っているインテル社は、自社の技術やノウハウ(知的財産)をクローズにすることで独自性を保ち、巨大なパソコン市場にCPUをどんどん供給するという戦略で利益を確保しています。

グローバルなものづくり競争のなかで、製造企業の利益を最大化するために。

企業の利益を上げる! 必要な3要素 グローバル競争に負けない!

1 優れた商品であること
画期的新機能と顧客ニーズとの合致

2 効率的なものづくり
品質向上・コスト削減・納期短縮

3 付加価値・利益の獲得
差別化・独自性・戦略(知財戦略など)

今後の課題…日本の苦手分野

自社の技術やノウハウをどのように活用し、付加価値や利益を獲得するのか。「知財戦略」は技術経営においてとても重要なので、「知的財産権」という授業で解説しています。

では、自社製品がたくさん売れ、利益を得るためにはどうすればいいか。そのためには、他社に自社技術を公開し、他社と協力しながら自社製品や互換性のある他社製品を事実上の標準とします。この戦略はオープン戦略と言って、自社製品の市場を大きくする戦略です。しかし、大きくなる市場の中で、自社製品が高いシェアを取れるかどうかはわかりません。高いシェアが得られなければ、やはり利益は得られません。

そこで、重要になるのが、特許などの知的財産ということになります。公開した自社技術を他社が利用するときに、その技術の特許を取っておいて、他社が利用するたびに使用料が自社に入ってくるようにしておくのです。

日本の得意分野をさらに伸ばす!

ものづくり経営学の授業では、3D CADや3Dプリンターの操作を学びます。建築学科や機械学科でなじみのある装置ですが全く異なる使い方です。どの大学でも顧客ニーズや効率化が大事だと学びますが、そのためにはどうすれば、何をすればいいか。3D CADや3Dプリンターは金型や試作品の製作を可能にし、開発費(コスト)の削減や納期短縮(スピードアップ)といった効率化にダイレクトに貢献します。いくつかの試作品を3D CADで設計、3Dプリンターで制作し、部品調達費が最もかからないものはどれかなどのシミュレーションによって、経営的にどのような効果があるか、コストや納期にどのように影響するかなど、さまざまな提案を可能にするのです。企業にとってこれほど頼もしいことはありません。

3Dプリンターを操作する学生たち

学生に望むこと。

ものづくり経営を学ぶ学生たちには、将来、製造企業のどの部署で勤務しても、ものづくり経営の視点を大事にしてもらいたいと思います。「技術経営」「知財戦略」「設備管理」など、本学で学んだことを生かしてもらいたいですね。

地域協働連携プログラム第1号!! 自由ヶ丘プラザの活性化プロジェクトとは?

石井成美教授の「IT経営研究室」では、所属する学生たちが地元商店街「自由ヶ丘プラザ」の活性化プロジェクトに邁進中です。地域貢献しながら学ばせていただく。企画力・実行力・問題解決能力を養う、真の実学です。

経営学部経営学科
石井 成美 教授
(IT経営研究室)

商店街の活性化を共に考える。

自由ヶ丘キャンパスが開設されて5年目ですが、これまでは地域連携と言っても、小学校のPTAによる清掃活動に私たちが参加するなど、ローカルなものばかりで、もっと地域連携を深めたいという思いがありました。

その一方で、私がよく行く自由ヶ丘プラザの焼きそば屋さんで、他の商店街の活性化に関わっているという話をしたら、「うちもぜひやりたい」と声をかけてもらっていました。それで、今年4月に自由ヶ丘プラザの店舗会議で「一緒にやりませんか」と提案。本学が昨年から進める「地域協働連携プログラム」の第1号として、7月に連携協定を結ぶに至りました。

学生と商店街のWIN・WINの関係を目指して。

自由ヶ丘プラザは、キャンパスから約300mの地下鉄・自由ヶ丘駅前にある団地の1階にあり、マックスバリュのほか飲食店や青果店など16店舗がテナント会に加盟しています。プロジェクトには、ゼミの4年生10人が卒業研究として取り組みます。商店街の活性化プロジェクトを通じて、地域に貢献したいという思いと同時に、地域や企業・商店の方々から学ばせていただきたい、さらには地域に愛される大学になりたい、という思いがあります。

店舗ごとの特徴をつかんで戦略を練る。

活性化案を考えるにあたって商店街の通行量を調査したところ、本学の学生や近くにある高校の生徒たちがあまり利用していなかったことから、「学生が行きたくなる商店街」をテーマとしました。そして、目標として「商店街に来る人が増えること」と「各店舗の売上が増えること」の2つを設定。そのうち特に重要なのが「売上が増えること」です。というのは、よく商店街の活性化と言われ、国や市などの助成金でお祭りやイベントが行われますが、賑わうのはその日だけだったり、人は集まっても商店街の店舗は利用されていない、というのが実情だからです。

今回のプロジェクトでは、メンバーが5つのグループに分かれ、そのうちの1組が商店街の全体像を、あとの4組がそれぞれ担当する店舗を決めて、経営学的な分析なども行いながらイベントや商品化などに取り組みます。たとえば、青果店で果物や野菜を買って来店者がスムージー作りをするなど、ユニークなアイデアが出されています。そこでITを活用し、美味しい順に完成品の写真や製作者の名前をランキング掲示したりすれば、注目度も高まります。店主に負担をかけることなく、学生たちが場所と材料を借りて、自分の友人や高校生を集めて週1回このようなイベントを開催するだけでも、売上の補助になるかもしれません。そして「おじさん、また来ました」という感じで定期的に足を運べば、信頼関係も深まります。

目標は「活性化の輪」を広げていくこと。

学生たちが考えた活性化案は、実効性などに関する一般の方々のアンケート調査を踏まえて改良し商店街の方々へプレゼンテーションを行ったところ、「ぜひ頑張ってほしい」と賛同していただけたため、12月18日に初めてのイベント実施が決定しました。当日は3年生も参加して盛り上げる予定で、その3年生が翌年は中心になるという形で先輩から後輩へバトンをつないでいけたらと考えています。回を重ねるごとに信頼関係が深まりイベントもより良いものになるでしょう。いずれはゼミ研究としてだけでなく地域連携サークルへと発展させ、近隣の店舗群も巻き込んで活性化の輪を広げていくことも視野に入れています。ぜひ成功させ、それを広く社会に発信したいですね。※記事内容は取材当時のものです。

9月18日『自由ヶ丘食堂』OPEN!

9月18日、自由ヶ丘キャンパスの学食が『自由ヶ丘食堂』と、名前も新たにリニューアルオープンしました。

さっそく利用した学生たちは「値段が安くなり、利用しやすくなった」「美味しいです!」と喜び、大好評!人気の学食になりそうです。

自由ヶ丘食堂は一般の方も利用できます。ハンバーグとプラス1品をメインにした『日替わりランチ』と、ラーメンとミニ丼の『麺定食』を中心に展開していくとのこと。一般の方にも開放しています。ぜひ、ご利用ください!

TOPICS

トピックス トップ10
2014年秋冬の注目ニュース
詳細はwebで！ 愛工大 検索

ノーベル物理学賞・天野教授 本学で特別講義

ノーベル物理学賞を贈られた天野浩・名古屋大学教授が10月14日、八草キャンパスで特別講義をしました。受賞決定から１週間、多忙なスケジュールの中、学生たちにＬＥＤへの思いを直接語ってくれました。学生たちは「滅多にない機会なので貴重な経験になりました。これからの勉強の参考になりました」と話し、分かりやすく、気さくな語り口の天野教授の講義に感銘を受けた様子でした。

天野教授は本学総合技術研究所が中心となって進めている「グリーンエネルギー研究拠点」に共同研究者の一員として参加しており、若手研究者育成のため行われる特別講義を毎年１回担当しています。本来は大学院生が対象ですが、学部生や教職員らにも開放したところ、大講義室が聴講者でいっぱいになりました。

九代目玉屋庄兵衛氏による ものづくり文化実習を実施

9月8日～11日、八草キャンパスみらい工房（12号館地下1階）で「ものづくり文化実習～からくり人形の制作～」の授業（担当：森豪総合教育教室教授）が行われ、客員教授のからくり人形師・九代目玉屋庄兵衛氏が学生らに、からくり人形制作の手ほどきをしました。

当授業は、からくり人形の制作を4日間で擬似体験できる授業。今回は建築学科、機械学科の1～2年生を対象に、約30人が高さ約30cmの「采振り人形」制作に挑戦しました。学生たちは「難しかったが楽しかった」「達成感でいっぱい」など充実した様子でした。森教授は「作業を通して、機械工学や木材加工の基礎、ものづくりの基本を学べる」と授業の意義を話しています。

大学HP（エクステンションセンター）に、ものづくり文化実習レポートをupしました！

都市環境学科 ICT施工技術体験実習 『建設業の魅力とやりがいを伝える講座』

11月1日、八草キャンパスで、長野・岐阜・静岡・愛知・三重の建設業若手経営者を中心に構成される「中部建設青年会議」の新建設産業創造委員会主催で、都市環境学科３年生約６０人を対象に、外部講師による講座と体験実習が行われました。

ICT施工では、人工衛星による位置情報を測位技術に活用、自動追尾機能やセンサーなどと組み合わせオペレーターに対しナビゲーションや自動制御を行うほか、３次元設計データを活用することによって設計通りの施工が可能です。環境改善により女性技術者の活躍の場も増えています。最新の測量システムは、授業で習得した測量知識をさらに進化したもので、「人材不足の解消や業務の効率化、合理化などに貢献することがよくわかった」との声が聞かれました。

本学で開催 NICOGRAPH2014で 堤監督が特別講演

11月3日～4日、八草キャンパス1号館で芸術科学会による学術会議NICOGRAPH 2014が開催され「堤組VFXマジック」と題し本学客員教授である映画監督の堤幸彦氏による特別講演が行われました。

特別講演は、制作チームに欠かせない「VFX※」部分を制作する株式会社エヌ・デザイン代表取締役の野崎宏二氏（VFXスーパーバイザー）との対談形式で進められました。

堤監督がどのように撮影し、野崎氏がどのようにＣＧ画像を加え、VFXシーンが完成するのか、2人が今までに手掛けた作品の事例をあげながら、具体的に説明しました。

NICOGRAPH 2014には、CG・マルチメディア等に関する研究やコンテンツ制作に携わる大学や高専、企業などの関係者が全国から集まっており、貴重な講演に会場中が聞き入っていました。

※VFX：コンピューター上で3DCGを使って特殊な映像を作成し実写映像と合成するなどの特殊な効果映像

中川客員教授らが海外の学会で 『最優秀論文賞』受賞

飛行機の信頼性・保全性理論研究に関する研究で知られる経営学部の中川覃夫客員教授、中村正治非常勤講師、趙旭峰共同研究員による共同研究論文が、ＩＳＳＡＴ（国際科学・応用技術学会）の「信頼性と品質デザインに関する国際学会」で、昨年の同学会で発表された研究論文の中で最も優れていたとして「最優秀論文賞」を受賞しました。日本の研究論文が海外の学会で最高の賞を受けたのは珍しく、非常に喜ばしいことといえます。表彰式では、出席した中川客員教授、中村非常勤講師、趙共同研究員の３人にそれぞれ記念の盾が贈られました。

中川客員教授は２００９年に同学会で功労賞も受賞、この他にも各方面からの受賞が続いており、「これらの賞を励みにさらに研究に打ち込みたい」と話しています。

ⓐ中川客員教授ⓑ趙共同研究員

愛知県立・名古屋市立 教員採用試験 現役４人が合格

本年度の愛知県立・名古屋市立教員採用試験に、現役で4人が合格しました（うち、1人は補欠合格）。合格したのは、木村敬一さん（電気学科4年）、伊賀龍斗さん（機械学科4年）、佐々木一将さん（同）、野田昌史さん（経営学科4年）です。4人は高校生のころから教師を夢見ており、「教師になりたい」という志の強さと、教職・一般教養の勉強のほか、模擬授業、小論文対策、面接練習など教職課程の先生方の強力なバックアップで夢の実現へ第一歩を踏み出しました。

教育実習では、生徒目線で物事を考える大切さや難しさを実感。4月から憧れの高校教師として教壇に立つ予定です。

ⓐから木村敬一さん、伊賀龍斗さん、佐々木一将さん、野田昌史さん

住・商空間デザイン研究室 日本建築学会タジマ奨励賞、ほか多数受賞

「日本建築学会設計競技」において、住・商空間デザイン研究室（建築学科・安井秀夫教授）の出向壮さん、鳥山佑太さんの2人（いずれも建築学科4年）がタジマ奨励賞を、続く「ハーフェレ学生デザインコンペティション」においても「妹尾賞」を受賞しました。全国規模の設計競技で続けて受賞したことに対し、2人は「評価されて嬉しい。最優秀賞を目指してもっと頑張りたい」と話しています。

当研究室では他にも「愛知建築士会学生コンペ」で後藤由子さん、石渡美由紀さん（いずれも同4年）が佳作に、「ネクストジェネレーション in TOKAI」で、水品沙知恵さん（同3年）が塩田有紀賞を受賞するなど、積極的に学外での活動にチャレンジしています。

ⓐ出向壮さんⓐ鳥山佑太さん

情報科学科 CGメディア研究室が開発 「お絵かきダンスステージ」

10月25日、愛知県高浜市で開催された「高浜鬼みち祭」において、CGメディア研究室（情報科学科・水野慎士教授）が開発した「お絵かきダンスステージ」を出展し、70人以上の子供たちがお絵かきとダンスの振り付けを楽しみました。

このシステムは、参加者がお絵かきしたあと、絵をスキャナーで読み込み、頭・手・足・胴を認識させると、壁面に映し出されたバーチャル上のステージで、自身が描いた絵が自身の振付けに合わせてダンスをするというものです。キャラクターたちが踊る様子を見学者も楽しむことができます。

11月3日には、愛・地球博記念公園で開催されたポップカルチャーの祭典「ぽぷかるパーティ」にも出展しました。

写真は高浜鬼みち祭でのデモンストレーションの様子

PICK UP ★ ～Global Challenge～

CSI2014 情報科学部の学部生らが国際会議で論文発表

8月31日～9月4日、CSI2014（Computer Science & Intelligence 2014）が開催され、4人の学部生が厳しい査読を通過し研究論文を発表しました。発表を行ったのは、鷹見峻希さん、村山翔太さん、才田桃子さん（いずれも情報科学科3年）と丹羽巧さん（同2年）の4人。石井直宏情報科学部客員教授のさまざまなサポートを受けながら国際会議での発表をやり遂げました。発表した研究内容は、高齢者孤独死対策のアプリ「あんしん」開発、プロジェクションマッピング開発、南海トラフ地震の地震災害3次元シミュレーション、自閉症児のためのタイムアプリ「いっぷんぷん」開発の4件。学生らは「チャンスがあればまた挑戦したい」と意欲を見せました。

アメリカ語学研修に学生20名が参加

8月14日～9月4日の22日間、アメリカシアトルでの語学研修が実施されました。

現地空港では、研修先であるエドモンズコミュニティカレッジのスタッフに出迎えられ、そのまま学校へ。学生たちは迎えに来てくれていたホストファミリーに連れられて、それぞれのホームステイ先へ向かいました。

午前中は、ホームステイ先から通学し語学研修、午後は、ホストファミリーとの交流や市内観光。刺激的な3週間となり、日本ではできないたくさんの経験を積みました。

学生たちは同じ感動を味わった仲間との強い繋がりを実感、語学への意欲が高まるなど、実りのある研修となりました。

大学HP（国際交流・語学研修）に、語学研修レポートをupしました！

経営学科 スポーツマネジメント専攻 教育講演会を実施

11月10日、八草キャンパス10号館1階の大講義室で、経営学科スポーツマネジメント専攻の自主企画として、スポーツマネジメント専攻の全学生を対象に「マスコミから見たスポーツ界」と題し、教育講演会が行われました。

講師を務めた中日新聞社編集委員長の秦融氏は、運動部、社会部に勤務し、運動部に勤務の際にはスポーツ界における間違った常識や改めなくてはならない数々の事例を目にしてきました。講演会では、実際に新聞に掲載されたスポーツ関連の記事を示しながら、知っておきたい〝常識〟や、間違った認識による危ない〝常識〟について話しました。海外との違いや運営側にもルールを作っていく必要があるという提言などを紹介しました。

スポーツマネジメント専攻ではスポーツに直接かかわる学生が多く、みな真剣な面持ちで講演に耳を傾けていました。

都市環境学科×情報科学科 スマホによる避難誘導実験を実施

11月7日、愛知工業大学を中心に学校法人名古屋電気学園全設置校挙げ約5,600人が参加する大規模な防災訓練が行われました。M8・5の東海・東南海連動型の巨大地震が発生、大学周辺では震度６弱が予想されるとの緊急地震速報に基づいた訓練です。通常の訓練と合わせ、「スマートフォンによる避難誘導・安否確認システム」の実験が行われました。このシステムは都市環境学科の小池則満准教授が災害時の状況を踏まえたさまざまな提案を行い、情報科学科の中村栄治教授がシステムの開発を行っています。

今回の実験では、スマートフォンに表示される地図や避難指示はスムーズに表示され、学生を安全に避難場所まで誘導することに成功しました。今後、さらに改良を加え、実用化を目指していきます。

AIT STUDENT

メディア情報研究会企画AIT STUDENT18号です。
今回は、日頃お世話になっている警備員さんの取材をしました。次に、愛工大生がどんな音楽を聴いているかを調査しましたのでご覧ください。
さらに、メディア情報研究会の1年生が開発したダイエットアプリを特集します。

編集長:島本寛右
齋藤淳也・岡沢太一・石田幸大
野村和嗣・井口喬介・市川稜祐

警備員室ってどんなとこ？

ありがとうございます。

愛工大を危険から守る!!

何も起こらない日常が当たり前になっていますが、警備員の方々のおかげでしっかりと大学は守られています。事故や火災からどのように防ぎ警備をされているのか業務内容をインタビューしましたのでご覧ください。

警備員さんの業務内容

- 事故等発生時の応急措置
- 時間外等における電話対応
- 消防設備の月次点検
- 事故等未然防止の処置
- 車両の出入り・物品の搬入出管理
- 巡回（施設内を移動して警戒）
- 各館扉等の開閉管理
- 鍵の貸し出し・保管等管理

Q1: 何に気を配って警備をしていますか？
A: 不審者が侵入しないよう監視や施錠を行っています。特に火災には注意し警戒しています。

Q2: 大学全体の鍵の本数は？
A: 3000本を超えます。鉾徳館だけで 100 本 あります。

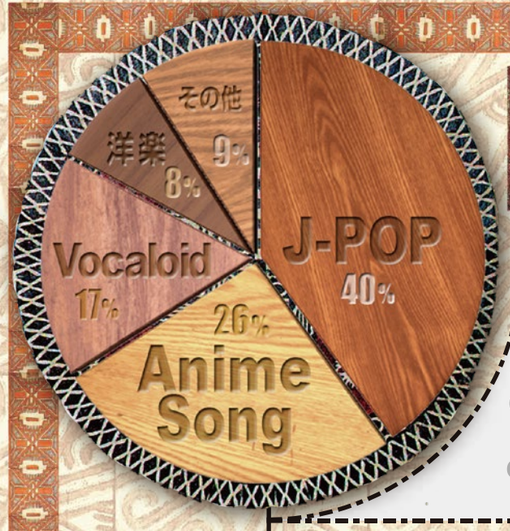
Q3: 苦情の電話はどのようなものが多いですか？
A: 八草駅から大学までの道沿いにタバコや空き缶が捨てられていると苦情が寄せられます。また交通マナーが悪いとドライバーの方から電話があります。

春 桜が咲き誇る

警備の仕事で嬉しいことは？

野球部や陸上部、ラグビー部などの運動部の学生からの元気な挨拶がとても嬉しいです。
来客者に大学の地図を渡して案内をしています。「警備員さんのおかげでスムーズに目的地に行くことができました」とお礼の言葉を頂くとやりがいを感じます。
また、春には総合技術研究所前の桜。秋には図書館通りの紅葉がとても綺麗で癒されています。私たちの一番好きな風景です。

秋 紅葉が輝く



愛工大生なに聴いてるの？

音楽大調査!!

このコーナーでは愛工大生の好きな音楽ジャンルと曲数の調査結果を公開します。

愛工大生が聴く音楽ジャンル

愛工大生200人に好きな音楽ジャンルを聞いてみました。左の円グラフが調査結果です。
音楽好きの人に詳しくインタビューしてみました。

Q1: 次、流行りそうな音楽ジャンルは？
A: ダンスミュージック系が流行ると思います。

Q2: 持っているCDの枚数は？
A: 約2000枚以上あります。

音楽プレイヤーに何曲入ってる？

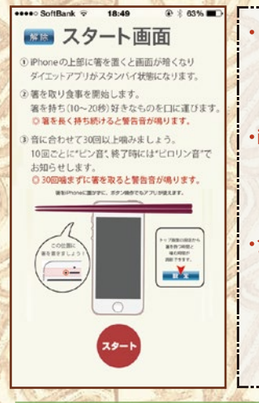
音楽プレイヤーの曲数は、100曲以上500曲未満の方が多かったです。なかには、iPod Classicに5000曲以上入れている方がいました。

1位	100曲以上500曲未満	41%
2位	500曲以上1000曲未満	28%
3位	100曲未満	13%
4位	1000曲以上2000曲未満	12%
5位	2000曲以上	6%

1年生がアプリ開発!!

箸置きダイエット

箸を置くだけの簡単ダイエット
箸を置き30回以上噛むことで満腹中枢を刺激して食べ過ぎを防ぎ、食事量を減らすことができます。



- **1年生がアプリを開発**
  メディア情報研究会の1年生がアプリを開発しました。その開発秘話をご紹介します。
- **iPhone自体を箸置きに**
  箸を持てる時間、噛む時間を調整でき、箸を長く持ち続けると警告音が鳴り食べ過ぎを防ぎます。
- **食習慣の改善で痩せられます**
  よく噛むことで食事量を減らすことができ、誰でも簡単に痩せられるダイエットをサポートします。
  箸を置き、よく噛むだけで何をどれだけ食べても構いません。

Q1. このアプリを開発した経緯は？
A. 最近、肥満が大きな社会問題となっており新しい方法で支援を行いたいと思い開発しました。

Q2. どんな人に使ってもらいたい？
A. 若い女性から中年の男性まで肥満はたくさんの人の悩みです。痩せたいと思っている全ての人たちに使っていただきたいです。

Q3. アプリ開発を通しての感想
A. 開発メンバーは大学生活の大切な仲間になりました。今後もこの団結力を武器に次のプロジェクトを制作していきたいと思います。

編集後記

9月18日のキックオフから始まった「AIT STUDENT chapter 18」が完成しました。編集長を任され紙面の作り方や構成など、たくさん学ぶことができました。みんなと内容を考え聞き込み取材も行いました。何度もリテイクを重ね大変でしたが全員が納得できるページに仕上がりました。忙しいなか、取材に協力してくださった警備員の皆様、学生の皆さんへ、この場を借りてお礼を申し上げます。　島本 寛右

キャリアセンター NEWS

就職活動に強力な味方 先輩たちが後輩をバックアップ！

11月10～12日に、八草キャンパスキャリアセンターと瑞若会(愛工大同窓会)の共催で「OB・OGとの交流・懇談会」が行われ3日間で65人のOB・OGと約90人の学生が参加しました。平成27年度の卒業生から就職活動の開始が12月から翌春3月へ後ろ倒しになることを受け、少しでも学生の不安を軽減し、その期間を有効に使おうという初めての取り組みで、キャリア教育の一環として2年生・1年生にも参加を呼びかけました。

今後継続して行われる予定で、キャリアセンターと就職指導教員によるバックアップに加え、先輩たちが力強い味方となり後輩の就職活動を応援していきます。

就活のスタートは早めが肝心！まずはキャリアセンターへ！

スポーツクラブ結果報告

卓球部	吉村 真晴(経営学科3年)
	ワールドツアーチェコオープン/男子ダブルス準優勝・アンダー21準優勝 長崎がんばらんば国体/成年男子(団体)優勝 全日本大学総合卓球選手権大会/個人ダブルス準優勝
卓球部	吉田 雅巳(経営学科2年)
	ワールドツアースウェーデンオープン/アンダー21優勝
卓球部	藤村 友也(経営学科2年)
	全日本大学総合卓球選手権大会/個人ダブルス準優勝 長崎がんばらんば国体/成年男子(団体)優勝
フェンシング部	五定 寛司(経営学科2年)
	ジュニアワールドカップ(メキシコ)に日本代表として出場
フェンシング部	佐藤 創(経営学科4年)
	関西学生フェンシング選手権大会/フルーレ優勝
ライフル射撃部	手塚奎佑(情報科学科4年)
	中部学生ライフル射撃選手権大会/準優勝
卓球部	全日本卓球選手権大会(団体)/準優勝
フェンシング部	関西学生フェンシング選手権大会(団体)/サーブル準優勝
レーシングカート部	全日本学生カート選手権/準優勝
ゴルフ部	中部学生ゴルフ1部秋季学校対抗戦/準優勝
硬式野球部	愛知大学野球秋季2部/優勝

第54回 愛工大祭 10月11日・12日に開催しました！

10月11日～12日、八草キャンパスで第54回の大学祭が開催されました。

セントラル広場では、新・2号館が建設中のため例年の半分のスペースでの開催となりましたが、ダンス・ライブ・お笑いショーなどのステージ企画のほか、さまざまな研究室、サークルによる模擬店で活気にあふれ、またロボットに触れ合えるロボットミュージアムや、ＡＩＴプラザ前広場に設置されたふれあい動物園など家族連れなども楽しめる企画もあり、たくさんの人で賑わいました。

※工科展についてはP.1をご覧ください。

©光プロ

秋のOPEN CAMPUS同時開催

11日には、オープンキャンパスも同時開催され、本学のカリキュラム、研究や就職状況などに関心を持つ高校生や保護者ら380人が来場し熱心に話を聞いた後、学食体験をしたり、大学祭や工科展などにも足を運ぶなど、愛工大のキャンパスライフを体感しました。

2014年度 後期スケジュール （1月～3月）

1月 January

- 4日(日) 冬季休業終了
- 5日(月) 授業開始
- 23日(金) 後期授業終了
- 30日(金) 後期定期試験開始

2月 February

- 13日(金) 春季休業開始

3月 March

- 23日(月) 卒業式
- 31日(火) 春季休業終了

facebook いいね！ 553 ※2014年11月末現在

学内イベント、研究室の様子、クラブ活動、学食の様子など、愛知工業大学の色々な情報をどんどん発信していきます！
Facebookでフォローして、愛工大を盛り上げよう！

http://www.facebook.com/aikoudai

YouTube 愛知工業大学の公式チャンネルができました。

●AITnewsは瑞若会(愛知工業大学同窓会)・後援会より支援を受けており、瑞若会・後援会の年度予算から制作費の一部が拠出されています。